

学校教育

1 施策の概要

(1) 教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、教職員の資質を高め、学び続ける教師を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

○教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ

○教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求する（県教育センターの教育相談講座基礎と同等の資格を取得可能）

○学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーを育成する

○小学校理科実技研修会…若手教員等を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ

等の研修会を開催しています。

(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。学校においては、児童生徒一人一人の個性や学校・地域社会の特性を生かした自主的、創造的な取組を通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営が推進されるよう、引き続き支援を行います。

(3) 特別支援教育の推進

心身に障がいがあるなど特別に支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、自閉症スペクトラム等を含め、心身に障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーター

の資質向上と校内組織の充実を目指します。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有した特別支援教育巡回指導員4名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

さらに、個々の障がいの種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍する児童生徒の障がいの程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。平成29年度は40名の養護補助員を23校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への支援を充実するため、平成20年度から特別支援教育支援員を配置しており、平成29年度は21名の特別支援教育支援員を21校へ配置しています。

(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実

市内全中学校に加え、成田小学校と公津の杜小学校にも県費のスクールカウンセラーが配置され、更に市として拠点となる小学校12校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係小中学校教職員等からなる教育相談連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携を含めた効果的な教育相談体制の確立に努めています。

(5) 学校体育の充実

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。その指標として、第2次成田市生涯スポーツマスタープランに基づき、運動能力証の合格率を平成32年度までに30%となることを目指します。

そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。体育授業においては、優れた指導力を有する教員から指導技術を学ぶための研修会等を実施していきます。

また、小学校1・2年生体育科の「水遊び」（低学年水泳指導）の充実のために、小学校12校に体育実技指導協力者を派遣するとともに、児童生徒の体力向上と積極的交流を図るために「成田市ロードレース大会」を開催します。

(6) 安全教育の推進

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導（不審者対応訓練や

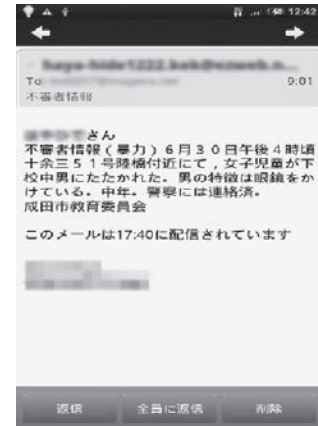
避難訓練の実施、交通安全教室の開催等)の充実を図ります。

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額を補助します。

子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校1年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配布するとともに、児童及び生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、不審者情報はなりたメール配信サービスを通じて迅速かつ正確に保護者に連絡します。

さらに、関係機関や関係各課と連携を図りながら、「成田市通学路交通安全プログラム」をもとに成田市通学路安全推進連絡協議会を組織し、交通安全・防犯の両面から通学路における危険個所の改善に取り組み、より一層の登下校の安全確保を図ります



携帯電話へ不審者情報を配信



通学路合同点検

(7) 情報教育の推進

学校教育のICT化を推進し、情報及び情報手段を適切に選択・活用する能力等の情報リテラシーを育成するために、学校間情報ネットワークシステムの有効活用を図ります。

情報教育関連の各種の研修会については、パソコン教室、タブレット、大型ディスプレイ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を図るなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・NPOなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会を推進します。

また、各学校が計画するICT研修会には、インストラクターを紹介し、タブレットを導入した学校には、ICT支援員を派遣するなどして、より専門的かつ充実した内容で研修が行われるよう学校の要望に応えます。

そのほか、授業支援システム等の見直しも図っていきます。

(8) 学校評議員制度の活用

地域住民の学校運営への参画を得て、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校ごとに学

校評議員を委嘱しています。

学校評議員の職務は、校長の求めに応じて、校長の行う学校運営に関して意見を述べることです。学校・家庭・地域が手を携えて、より良い教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声を把握しながら適正に学校運営を行うことを支援していきます。各学校の創意工夫を生かした取組の一層の充実を図ります。

(9) 学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改造工事を段階的に実施します。また、バリアフリーに配慮した整備や、地球温暖化防止を視野に入れた太陽光発電の導入も進めています。

(10) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取組だけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、カウンセラー、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校の支援をします。

また、いじめによる自殺などの重大事態が発生した場合に備えて、平成26年度からチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置しています。

(11) 学校支援地域本部事業

地域住民が学校支援ボランティアとして、学校活動をサポートする体制を整備し、地域とともに歩む学校づくりを進めます。学校とボランティア間の連絡調整の役割を担う地域コーディネーターを各校に配置し、地域ボランティアによる学習支援や通学路の安全確保などの学校支援を、より効果的に行えるように取り組んでいきます。今年度は昨年度までの4校からさらに4校を加え、8校で実施していきます。

2 教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

(1) 学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。

各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、ラミネート機を使った教材・資料の作成等も行います。

(2) 特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年3回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者からうかがいながら、保護者と就学先についての相談を行います。委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指します。

また、通常の学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）等を含めた発達障がいなどのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

平成22年9月から、医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を配置しています。

(3) 教育相談

教育センターに1名の臨床心理士を配置し、不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する学校を支援、児童生徒の様々な問題に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、成田市内の精神科医又は臨床心理士を派遣します。

(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付

自分が地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、評価テスト、白地図等の改訂作業を毎年行い、大き

く発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。平成22年度から隔年発行しています。

(5) 情報教育の推進

情報教育を推進するため、教育用のセンターサーバ等の運営や、学校でのICT活用を支援します。

また、情報教育関連の各種研修会の開催や各学校内での研修会の運営支援を行い、パソコン教室、タブレット、大型ディスプレイ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い、情報共有を推進するなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

3 教育支援センター

教育支援センターは、学校不適応等により登校できないでいる児童生徒が学校に復帰できるよう、適応指導教室「ふれあいるーむ21」の運営を行うとともに、教育相談業務を行います。

教育支援センターでは、専任の指導主事を1名配置するとともに、7名の指導員が児童生徒の支援にあたります。また、通所する児童生徒一人一人にきめ細かく対応するため、「臨床心理士」を教育支援センターに配置（1週間に1日程度）し、通所する児童生徒及び保護者に教育相談を実施します。さらに、月1回程度、様々な講師の助言を受けケース会議を行い、児童生徒の学校復帰を目指します。

また、担当指導主事、指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にし、通所する児童生徒一人一人の学校復帰の足がかりとします。



教育センター・教育支援センター



教育支援センター「ふれあいるーむ21」

4 各学校・幼稚園の特色



成田市立成田小学校
(創立 明治6年)

児童数 714人
学級数 26学級

自主創造を合言葉に、やさしく・かしこく・たくましく生きる成小の子の育成に向けて、職員・家庭・地域が一体となり、教育活動を進めています。児童の基礎的・基本的な力の習得と、これまで培ってきた「コミュニケーション能力」を活用し、思考力と表現力を高めるため、全職員共通理解のもと指導しています。また引き続き、学力を側面から支える家庭学習の習慣づくりにも、力を入れています。若い職員が多い学校ですが、授業の質の向上、教師と児童の関わりの中身の向上を目指し日々研鑽に励んでいます。

本校の特色ある活動としては、参道に近いという立地条件を生かし、参道を訪れた外国からのお客様と英語を使ってコミュニケーションを図る参道活動があります。また、PTA活動も盛んで「成小フェスティバル」(バザー)や保護者と児童が協力して行う「エコ活動」等を実施しています。



成田山参道での参道活動 (英語学習)



成小フェスティバルでの
エコホスト (エコ活動)



成田市立遠山小学校
(創立 明治35年)

児童数 54人
学級数 7学級

学校教育目標「育て駒っ子 かしこく やさしく 健やかに」

成田市の南に位置し、成田国際空港に隣接した畑作を中心とした農家が点在する地域にあります。校地は三方を学校林「駒の森」に囲まれ、貴重な里山の自然が大切に守られています。本校では環境学習にカタクリの花、アカハライモリなどの動植物を生かし、豊かな学習活動を展開しています。

保護者、地域の皆さんは学校教育への関心が高く、協力的です。そして、地域・保護者・学校が連携、協力して学校づくりに取り組んでいます。

また、「素敵な先輩シリーズ」と題して、本校出身の先輩や地域の皆さんに来ていただき、貴重な体験を子どもたちにお話ししていただいています。その大きな感動が、子どもたちの意欲につながっているように感じられます。



子どもたちが未来に向かって一歩一歩前に
進んでいく願いを込めて「歩」



地域の方から白い鯉のぼりをいただき、
子どもたちの手形を押して鱗を表現



成田市立三里塚小学校
(創立 昭和25年)

児童数 437人
学級数 17学級

明治24年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和25年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。成田国際空港に隣接しており、ペルーやフィリピン等の外国籍の児童が多く、日本語の特別指導を行っています。校庭の「大えのき」をシンボルとし、「自分を磨き、自分も他人も大切にする児童の育成」を教育目標に、わかる授業、楽しい教室、夢広がる学校を目指しています。

遠山地区の小中学校では、小小及び小中連携を積極的に推進しており、共通の「家庭学習の手引き」の作成・活用や、生徒指導上の課題についての情報交換などを行っています。3年目となった国語科の研究は「文章を正確に読み取り、自分の考えを表現できる児童の育成」を研究主題に据え、重要な言葉や文章を選びぬく力、心情の変化を読み取る力を身に付けた児童の育成を目指しています。また、本年度から全校で音読をする時間を確保し、日本語の美しさにふれながら、表現力の向上に向けて取り組んでいます。



「ワールド学級」日本語や日本の学校生活について学んでいます。



「国語科授業研修会」グループの話し合いで考えを深めています。



成田市立久住小学校
(創立 平成23年)

児童数 358人
学級数 16学級

学校教育目標「夢をめざし 心豊かに たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子・ずっと仲良し心やさしい子・みんな元気でたくましい子」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学区は成田市のほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。児童数は増加傾向にあり、本年度は1学級増の16学級となりました。

保護者や地域の教育への理解や支援もあつく、豊作や健康を願う「牛馬づくり」や「昔遊び」、「米作り体験」、「職業人に学ぶ」など、地域人材を活用し、豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。

本年度は国語科指導の研究を基軸として、対話的活動を取り入れた実践を行い、自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成に取り組んでいます。



「牛馬づくり」6年生が親子で地域の方に教わり、伝統の牛馬を作りました。



「あいさつ運動」児童会やボランティアの児童が毎朝あいさつ運動をしています。



成田市立豊住小学校
(創立 明治22年)

児童数 50人
学級数 7学級

本校の学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、南は根木名川に囲まれ、緑豊かな田園風景が広がった、歴史的な文化や伝統を継承している地域です。祖父母や保護者のほとんどの方々が本校を母校とし、「ふれあいフェスティバル」や「地区合同運動会」等の行事では、三世代が交流するなど、学校に対して非常に協力的です。

「ふるさとを愛し、心豊かでたくましい子の育成」を学校教育目標として掲げ、小規模校のメリットを生かしたきめ細かな教育を推進して、一人一人のよさを大切にする学校を目指しています。本年度は、国語科を中心とした研究を通して、基礎学力の向上に努めるとともに、児童の思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいます。本校の校訓でもある福沢諭吉翁由来の「独立自尊」を合言葉とし、地域との連携を一層密にして、地域コミュニティの核としての学校づくりを進めています。



五月晴れの日、全校で田植え体験を行い「米どころ豊住」を実感しました。



高校生にいろいろな昆虫について説明していただきました。(成田西陵高校)



成田市立八生小学校
(創立 明治6年)

児童数 70人
学級数 8学級

成田市街の中心より北西へ約3km離れた場所に位置し、緑豊かな自然に恵まれた伝統ある学校です。地域住民は、学校への関心が非常に高く協力的です。

学校教育目標「やさしく かしこく すこやかに」のもと、基本的な生活・学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域社会との連携を重点目標に掲げ、学校全体で朝読書や詩の暗唱、計算・漢字検定、なわ跳び検定に取り組むとともに、縦割り活動や地域との交流、外部人材を活用した体験等、小規模学校のよさを生かした学校づくりを行っています。

全校で「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進するとともに、健やかな体づくりを目指して「遊友スポーツランキングちば」に挑戦しています。また、年間を通して下座の演奏にも取り組んでおり、印旛地区小中学校音楽発表会に4年連続で出場し、素晴らしい演奏を披露しています。



「遊友スポーツランキングちば」に挑戦し、様々な種目で入賞しています。



「印旛地区小中学校音楽発表会」に4年連続で出場しています。



成田市立公津小学校
(創立 明治6年)

児童数 129人
学級数 8学級

本校は明治6年創立の伝統ある学校で、「心豊かで、自ら学ぶ、たくましい児童の育成」を目標に、家庭・地域との連携を図り、保護者・地域社会に信頼される学校づくりを推進しています。目指す児童像として、「思いやりのある子」「自分で考え、進んで学ぶ子」「元気でがんばりのきく子」を掲げ、命を大切に、明るい挨拶ができ、基礎・基本をしっかり身に付けた子どもたちを育成しています。特に「あかるい あいさつ じぶんから さきにおうね 公津っ子」を合言葉とする「あじさい運動」に力を入れ、いつでもどこでも自分から進んで挨拶ができる子どもたちの育成に努めています。また、全校徒歩遠足(手つなぎ歩行会)や運動遊び(杉の子タイム)などの異学年交流(杉の子班活動)や地域との交流を年間通して計画的に行い、思いやりの心や協力性・協調性を育てています。校内研究では、児童一人一人の確かな学力の向上を目指し、国語科・算数科の研究に取り組んでいます。



「あじさい運動」
気持ちの良い挨拶を心がけています。



「手つなぎ歩行会」
異学年で仲良く手をつないで歩きます。



成田市立向台小学校
(創立 昭和47年)

児童数 285人
学級数 15学級

成田ニュータウンの中に最初に開校した小学校で、創立46年目を迎えます。中台3・4・6丁目を学区とし、周辺には公園が点在し、緑道が整備された緑豊かで静かな環境です。保護者の学校教育への関心は高く、読み聞かせや環境整備、防犯等に関するボランティア活動にも協力的です。学校教育目標は「新しい時代を創造する 心豊かで たくましい児童の育成」であり、その合い言葉「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」のもと、285名の児童が各教科等の学習をはじめ、学校行事、花の栽培、運動・音楽の課外活動等に熱心に取り組んでいます。

本校では、ニュータウンあおぞら会や成田国際高等学校の留学生をはじめ、地域の方々や団体との様々な交流活動を行っており、「地域とともに歩む学校」を目指しています。また、本年度は「明るいあいさつと返事」、「清掃の黙働」等の5項目の重点を決めて、学校全体で学校教育目標の具現化に努めています。



「歌声いっぱい」
歌声集会



「笑顔いっぱい」
台湾の高雄市前金国民小學との交流



成田市立加良部小学校
(創立 昭和48年)

児童数 629人
学級数 22学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、近年発展著しい飯田町・江弁須地区及び再開発による大規模マンションが建ち並ぶニュータウンの加良部地区で学区を形成し、629名の児童が在籍する大規模校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が日赤病院内に設置されています。本年度の学校経営の重点として「子どもが『わかる、できる』学習指導の充実」を定めました。社会科・生活科を中心とした校内研修によって、子どもたちの思考・判断力を育む授業を目指して工夫改善を行っています。それによって基礎学力の定着を図るとともに、保護者と協力しながら基本的な学習習慣を育てています。「《夢を持ち 未来を拓く》確かな学力を身に付け、心豊かで健康な子どもを育てる」の教育目標のもとで、本年度も学校・保護者・地域が一致団結して「よく遊び よく学び よく働く からべっ子」を育てています。



1年生を迎える会
6年生と手をつないで入場!



朝のあいさつ運動
「おはようございます」&ハイタッチ!



成田市立橋賀台小学校
(創立 昭和50年)

児童数 226人
学級数 11学級

昭和50年に成田ニュータウンの南端にニュータウン第3の小学校として開校しました。本校は、橋賀台1～3丁目の集合・個人住宅に囲まれた静かな教育環境にあり、特に碧い芝生と200mトラックのある広いグラウンドが自慢です。

「大きく 豊かに たくましく 生きる子どもの育成 -夢をかなえるための土台づくり-」を学校教育目標に、「よく考えて進んで学ぶ子」「思いやりがあり助け合う子」「丈夫でがんばりぬく子」を目指す児童像にしています。本年度は研究テーマを「自己肯定感を育む道徳授業のあり方」とし、「節度を持ち、明るく元気に学校生活を送る児童」の育成に努めています。また、小中連携教育を推進しており、吾妻中学校区3校の児童・生徒、職員、PTAが、それぞれ連携及び交流を進め、各種の地域行事に多数の児童が参加をしたり、学校行事に地域の方に来ていただいたりしています。



縦割り班による縄跳び大会



昔あそびで地域の方との交流



成田市立新山小学校
(創立 昭和52年)

児童数 212人
学級数 10学級

昭和52年4月に加良部小学校から分離、向台小学校の一部を借用して開校、昨年、創立40周年の年に校舎の大規模改造工事があり、本年4月から新校舎で212名の児童が元気いっぱい生活しています。学校目標に「強くて新しい学校」「やさしい子・かしこい子・元気な子」を掲げ、「夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童の育成」に努めています。

校内研修は本年度から国語科「読むこと」を中心に据え、言語活動の充実に取り組んでいます。また若年層教員が多くなってきていることから、層別研修を計画・実施し、授業力向上を図っています。特色ある教育活動として、思いやりリーダー性の育成を図るため、縦割り交流活動「すすく班」での遠足、清掃、定期的なレク活動、縄飛び大会等、様々な機会、行事を行っています。1年生から6年生が「みんななかよし丈夫に育て」を合い言葉に笑顔で登校できる学校づくりを進めています。



「新しくなった校舎」
室内もとてもきれいで快適です。



「5月2日全校遠足」
すすく班でたくさん遊びました。



成田市立吾妻小学校
(創立 昭和53年)

児童数 791人
学級数 27学級

本校は、成田ニュータウンの北西部に位置し、創立40年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも4基の古墳があります。本校の学校教育目標である「みんな仲良く たくましく」は、子どもたちの合言葉になっており、「思いやりのある子 喜んで働く子(徳育)」「自ら学びとる子(知育)」「健康でたくましい子(体育)」を育てるため、元気なあいさつや勤労・生産活動、思考力・表現力の育成、個に応じた運動や健康で安全な生活習慣の獲得に日々取り組んでいます。特に、一人一鉢運動や縦割り清掃、様々な業種のゲストティーチャーによるキャリア教育「人生の先輩から学ぼう」を通して、働く喜びや夢を育む取組をしています。子どもたちの安全を守るスクールガードあづまや吾妻・はなのき台地区青少年健全育成協議会等の地域の方々の活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられた子どもたちが生き生きと活動しています。



「運動会」
1・2年生によるチェッコリ玉入れ



「ピッコロコンサート」
全校児童による音楽発表会



成田市立玉造小学校
(創立 昭和56年)

児童数 330人
学級数 14学級

本校の学区は、成田ニュータウン北部の玉造1丁目から4丁目、そして公津地区八代の一部から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。

本校は教育目標「心豊かでたくましく生きる力を身につけた児童の育成」を掲げ、様々な教育活動に取り組んでいます。本年度も「チーム玉造」、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進し、玉小チャレンジ「挨拶・親切・外遊び」を合言葉としています。特に、ロング昼休みを月2回設定し、そのうち1回は縦割り班活動として、外遊びを奨励し、体力向上に力を入れています。また、「玉造小スタンダード」を核とし、学習のしつけや家庭学習の習慣化、ドリルタイムや月例テストで基礎基本の定着を図っています。

情緒の通級指導教室「スマイル」を中心に、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の充実を図っています。児童が自分や友達を知り、認め、自他共に大切にする力の育成に取り組んでいます。



スマイル (通級指導教室)



全校縦割り班遠足



成田市立中台小学校
(創立 昭和57年)

児童数 173人
学級数 9学級

本校は本年度創立36年目になります。本年度の学校教育目標「かしこい子どもの育成」の具現化として「勉強する子(知)」「やさしい子(徳)」「元気な子(体)」を掲げ、子どもたちの「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活を目指し、保護者からも信頼される教職員であることに努めます。

中台地区の社会福祉協議会の協力のもと、「あいさつ運動」「ペットボトルキャップ回収運動」「花植え活動」など継続して活動しています。本校を取り巻く環境は整っており、保護者・地域の方々の教育的な関心も高く、活発なPTA活動がなされ、防犯パトロールや読み聞かせのボランティアの皆さんからお力添えをいただいています。このような中で、花や緑いっぱい为学校、朝はグラウンドで陸上の練習、校舎からはブラスバンドの音が鳴り響き、笑顔と元気なあいさつが交わされ、授業に集中する姿が見られません。



運動会の花「マーチングパレード」は高学年が参加しています。



社会福祉協議会の皆さんに協力していただき、花植え活動を行っています。



成田市立神宮寺小学校
(創立 昭和60年)

児童数 207人
学級数 10学級

創立33周年を迎える本校は、成田ニュータウン北部にあり、近くには、成田スカイアクセスの成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりをめざして「神宮寺祭り」「どんど焼き」などの文化活動や、各種スポーツ大会など独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化・リサイクル活動・防犯パトロール活動などのPTA活動も盛んです。また、隣接する成田北高校の先生や生徒によるおもしろ実験教室や、綱引き練習などの交流を行ったり、地域の学習ボランティアによる学習会「神小寺子屋」を毎朝開催したりなど、学校、家庭、地域との交流が盛んです。このような地域環境の中、「心豊かでたくましく実践力のある児童の育成」の学校教育目標のもと、「知・徳・体の調和」を図り「よく学び、よく遊べ、感動いっぱい神宮寺小」を合言葉に全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。



「おもしろ実験室」成田北高の先生を講師に招いて実験室を行っています。



「メキシコ伝統舞踏交流会」メキシコの舞踏団の方々と交流を行っています。



成田市立平成小学校
(創立 平成2年)

児童数 530人
学級数 20学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道51号線周辺に散在する古くからの街並みと、JR線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き たくましく生きぬく人づくりをめざして ～知・徳・体の調和～」としました。いつでも夢や希望を抱きながら精一杯全力で頑張る児童の育成に向けて、全教職員が力を合わせて取り組んでいます。「全力でがんばる子」の育成を目指し、一生懸命努力すること、努力し続けて感動を味わわせることを目的に、運動部（陸上、綱引き）と合唱部の活動を通年行っています。また、子どもたちが夢希望を抱きつつ、健全に成長するために、地域で子どもを育て守る体制づくり（「平成小学区ゆめ協議会」本年度8年目）が推進されています。



「ペットボトルツリー点灯式」全校児童の「夢」を乗せたツリーへの点灯です。



「どこでも読書会」昼休みの読み聞かせで、先生のお薦めの一冊を紹介します。



成田市立本城小学校
(創立 平成5年)

児童数 358人
学級数 16学級

本城という地区名は、この地を開発して住み着いた人々が、自分たちの本当の根城にしようという願いをこめて付けたといわれています。学区住民は地域の学校としての意識が強く教育熱心であり、学校教育に対する強い期待を持ち、協力的です。「夢と希望を笑顔で語る子どもたち」を合言葉に、一人一人の児童が充実した楽しい学校生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域の連携を密にして、学校教育目標「たくましく、心豊かな子どもの育成」に努めています。本年度は、(1)心の教育、規範意識の醸成及びあいさつの実践(2)具体的な学力向上策を講じるとともに読書活動や日記の奨励と家庭学習の充実(3)体力向上と基本的生活習慣の定着を重点事項として取り組んでいます。また、「サツマイモの栽培」「昔の遊び」「かるた大会」等の活動を通して人間関係づくりと豊かな心の育成を図り、始業前のまきゼミ(寺子屋)では、地域の方とともに算数学習の基礎基本の定着を図っています。



給食残菜ゼロを目指して
「ペロリ賞」



算数大好き
「まきゼミ」(寺子屋)



成田市立大須賀小学校
(創立 明治41年)

児童数 54人
学級数 7学級

本年度、学校教育目標を「未来を切り開く 心豊かで かしこく たくましい児童の育成」とし、学校経営の重点を「チーム大須賀の学校力の向上」「確かな学力の向上」「豊かな心を育む教育活動の推進」「体力の向上と健康・安全教育の推進」「生きる力を育む生徒指導・教育相談活動の推進」「地域とともに歩む学校の推進」と定め、「一人一人が輝く大須賀小学校」を目指して取り組んでいます。本校の学区は、伊能、奈土地区を中心に9つのブロックで成り立ち、歴史的にも古く、特に伊能地区には由緒ある神社仏閣が点在しています。毎年4月中旬に行われる大須賀大神祭礼においては、市指定無形民俗文化財「伊能歌舞伎」が奉納上演され、子どもたちも参加しています。また、地域の青少年相談員との連携も意欲的であり、その精力的な指導により、昨年度も大栄地区青少年綱引き交流会において優勝し、4連覇を成し遂げました。



地域の皆さんとどっこいしょ!
～もちつき大会～



たてわり班対抗長縄大会



成田市立桜田小学校
(創立 昭和32年)

児童数 107人
学級数 8学級

本校は、成田市の東端に位置し、大栄インターの近く国道51号沿いの三角屋根の時計台がある学校です。印旛地区公立小学校では唯一制服のある学校です。本校では「心の美しい たくましい子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、学力向上・体力向上、そして豊かな心の育成に重点をおいて教育活動を行っています。4年生から6年生は、毎日運動部や合唱部の課外練習に参加しています。昨年度は運動能力証の交付率が男女とも市内トップで、合唱では3年連続で郡音楽発表会への出場を果たしました。

また、地域の特別養護老人ホームとの交流や、社会福祉協議会との連携による花苗植え教室やグラウンド・ゴルフ、注連縄作りなどの行事を通して、地域の方々との交流も深めています。

本年度も、開校60周年を記念した音楽鑑賞会を始め、本物に触れる機会を数多く設定し、感動する心や生きる力を育てていきます。



本物の音楽に触れた
「スクールコンサート」



社会福祉協議会と2年生の
「花苗植え教室」



成田市立前林小学校
(創立 明治8年)

児童数 51人
学級数 8学級

本校は、県道成田小見川鹿島港線沿線に位置し、学区の戸数は約450戸、畑作を中心とした農村地帯であり、豊かな自然に恵まれた地域です。校門近くに天にも届くような大木「あららぎ」があります。正式名を広葉杉（こうようざん）というこの木は、本校のシンボルツリーであり、本校の歴史とともに子どもたちの伸びやかな成長を見守っています。本校の教育目標は「夢をもち 心豊かに学ぶ 実践力のある人づくりをめざして 一かしく・やさしく・たくましく」です。特色ある教育としては、地域の施設や人材を生かした特別養護老人ホーム有楽苑、ア－アンドディだいえいとの交流やもち米作り、全校縦割り活動などがあり、これらの体験活動を通して、子どもたちに豊かな心、実践する力などを育てています。また、「知・徳・体」それぞれに具体的な目標を設定し、年間を通して共通実践を行うことで、教育課題の解決を図ることを目指しています。



5年生による「稲刈り」
地域の小林さんに指導していただきました。



「あららぎ集会」
アスレチックで交流を深めました。



成田市立津富浦小学校
(創立 明治6年)

児童数 106人
学級数 8学級

学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」のもと、算数科を研究教科として位置付け、朝の読書タイムや漢字・計算のチャレンジテスト、学習規律の徹底等、学力向上に向けた取組に力を入れています。また、年間を通しての部活動、軽快な音楽にのってのエアロビクスなど、体力向上に向けた取組も行っています。代表委員会が中心となって計画する集会、縦割り班での遊びや掃除などで異学年交流を行っています。さらに読み聞かせや家庭科、校外学習時の安全指導など、地域の方にお手伝いをさせていただき学校支援ボランティア、社会福祉協議会の方の協力によるグラウンド・ゴルフ交流会やしめ縄作りなど、地域の方との交流の場を積極的に設定し、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努めています。



学校支援ボランティアによる読み聞かせ



全校で楽しく縦割り班活動



成田市立川上小学校
(創立 昭和32年)

児童数 123人
学級数 8学級

本校の学区は成田市の東部に位置します。学区は広く、畑や工場、倉庫、住宅が混在しています。空港の発展とともに畑作中心の農業地域から、工場や物流倉庫が増えるなど地域社会が大きく変貌しています。本校では、学校教育目標「学ぶ意欲が高く、心身ともに健康な児童の育成～明日のために、今を精いっぱい生きる子どもの育成～」を達成するために、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を心がけ、調和の取れた人間性豊かな児童を育てようと努めています。算数をはじめとする少人数指導、基礎学力を定着させるためのチャレンジタイムの充実、特別支援教育・生徒指導などの推進に力を入れています。また、本物の竹を使う竹馬作りや竹馬大会、流しそうめん、餅つき大会、昔の遊びなどの地域との交流を深める行事を実施し、地域の皆さんとともに歩む学校づくりをしています。また、大栄地区の小学校統合、小中一貫校を見据え、小学校同士・中学校との連携を推進しています。



竹馬づくり
～自分の竹馬 完成が楽しみだ！～



餅つき大会
～楽しく全校で餅つき～



成田市立公津の杜小学校
(創立 平成18年)

児童数 832人
学級数 29学級

開校12年目となる本校は、学校教育目標に「未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成」を掲げています。確かな学力・豊かな心・たくましい体を育むことを重点目標に定め、「『好き』を増やす」をスローガンとして、「自分が好き、友達が好き、家族が好き、公津の杜小学校が好きな子」を育てたいと考えています。具体的な手立てとして学習習慣の確立、よりよい人間関係づくりの推進、そして食育に力を入れて取り組んでいます。

また、本校は千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会小学校部会研究指定校（H28～30）、文部科学省教育課程研究指定校家庭科（H29～30）、成田市食育推進拠点校（H29）の指定を受けています。平成30年度の公開研究会を見据えて、全職員が一丸となって取り組んでいます。



1・2年生 いも苗植え
～地域、保護者の協力を得て体験活動～



5年生 調理実習
～家庭科学習、食育の充実～



成田市立美郷台小学校
(創立 平成19年)

児童数 333人
学級数 15学級

本校では、「かしこく・やさしく・たくましく～夢をかなえる土台づくり～」を学校教育目標に掲げ、力いっぱい学ぶ子、思いやりがあり助け合う子、丈夫で、がんばり抜く子の育成に努めています。「かしこく」では、ドリルタイムや朝の読書タイムなど、基礎・基本の定着を図るとともに、授業では、問題解決的な学習を推進しています。「やさしく」では、年間を通じて、あいさつ運動や縦割り活動、親切運動に取り組み、豊かな人間関係づくりに努めています。「たくましく」では、体育科の授業を充実させるとともに、昼休みやリフレッシュタイムの中で、外遊びを奨励し、体力の向上を図っています。

また、毎年、5年生では地域の田を借りての米づくり体験、4年生の福祉体験、1年生の昔遊び活動など、地域の方々との交流を通じて、優しさや感謝の心、豊かな人間性を育てることを目指しています。

本年度は、子どもたちも職員も「元気な学校」をめざして、一歩前へ進んでいます。



4年生 福祉体験
～地域の方と車いす体験をしました～



全校長縄大会
～縦割り班で8の字跳びにチャレンジ～



成田市立成田中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 514人
学級数 17学級

「豊かな心を持ち、正しい判断力・実践力を身につけた、たくましい生徒～自立と共生を目指して～」を学校教育目標に掲げ、成田市内で最も歴史ある中学校として伝統を継承しつつ、生徒会を中心に生徒活動の充実と学力の向上に、取り組んでいます。生徒会では「Change our school. ～日本一のあいさつを目指して～」をスローガンに明るく元気なあいさつが響き渡る学校づくりに向けた活動に取り組んでいます。中学生が発信源となり、生き生きとさわやかな地域づくりに貢献できる成田中学校を目指して、教職員・生徒一丸となって取り組んでいます。

また、授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために、生徒の視点に立った指導方法の工夫改善に取り組んでいます。特に、外国語教育において、「生きた英語力」を身につけさせるため、ALTを積極的に活用したコミュニケーション能力を高める授業づくりを推進しています。



Change our school.
～日本一のあいさつを目指して～



ネイティブイングリッシュに触れる
積極的な英語学習



成田市立遠山中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 366人
学級数 14学級

本校は、成田国際空港に最も近い中学校です。修学旅行、校外学習、体育祭、合唱コンクール、予餞会など充実した行事が続き、生徒の笑顔が絶えることがありません。特色ある行事として入学式があげられます。本校の入学式は生徒会が司会・進行を行い、練習のときも生徒主体で行っています。先生方、生徒が一体となって新入生を心から迎えることを目的とし、地域の来賓の方や保護者からも多くの好評を得ています。また、安心して安全な学校づくりとして、生徒会を中心としていじめ0運動の「イエローリボン運動」を実施しています。この期間は学級ごとに朝の会で“いじめ0宣言”を読み合わせ、賛同できる人は胸にイエローリボンをつけて生活します。このイエローリボンは「いじめをしない、させない、許さない」という意思を表しています。成田市で一番あったかい学校づくりを目指して先生方、生徒が一体となって頑張っています。



生徒が司会・進行をする入学式



イエローリボンは
いじめ0のシンボルです。



成田市立久住中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 106人
学級数 6学級

本校の学区は、成田市中央部に位置し、その西部に水田地帯、東部に畑作地帯が広がっています。学区が広く、遠距離通学者もおり、約半数が自転車通学者です。近年、久住中央地区の宅地開発に伴い、生徒数が増加しています。本年度は、1学年が2学級となり、全校生徒が106名となりました。また、平成23年度の学区小学校の統合によって一六一中学区となり、小中連携の推進に努めています。本校は、次の5点を経営方針とし、特色ある学校づくりを進めています。

- 1 小規模校の特性を生かした、教育活動を工夫する。
- 2 教育目標の具現化に向け、組織力を集結し、協働体制を確立する。
- 3 学力向上をめざし、指導力向上につながる取組を推進する。
- 4 自己の生き方や社会との関わりについて考えさせる教育課程を編成する。
- 5 小学校・家庭・地域と連携した安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。



「総合的な学習の時間」の「伝承芸能」発表



久住小中音楽交流会



成田市立西中学校
(創立 昭和39年)

生徒数 566人
学級数 20学級

本校は白亜の大きな校舎、広い体育館、陸上競技場など恵まれた施設・設備のもと「文武両道 熱き西中魂」「一生懸命がかっこいい」をスローガンに掲げ、明るく元気に前向きに活動に励んでいます。学習面では「学力の向上」を目標に、国語、数学、英語を中心に、10分間のドリルタイムを毎日位置付けています。全校道徳として外部講師を招聘し、国際理解や命の授業を行い、全校で一つのテーマについて取り組んでいます。また、学区の清掃ボランティアや敬老会へも生徒会組織として積極的に参加しています。

学校と家庭との連携については、4月に教育課程説明会を開催して学校経営方針の理解に努め、また8月には、PTA主催で教師と保護者の語らいの場「西中の夕べ」を行っています。本年度も本校の教育目標である「たくましく生きる、心豊かな生徒の育成」の具現化に向け、地域・家庭・学校が一体となった教育活動をさらに推進しています。



全校道徳「国際理解」にJICA経験者から講演をいただきました。



学区清掃ボランティアに、委員会、部活動、希望者で参加しました。



成田市立中台中学校
(創立 昭和48年)

生徒数 261人
学級数 11学級

本校の生徒は、成田ニュータウンの4つの小学校区（向台・中台・新山・加良部）から通学しています。自ら学び、豊かな心もち、たくましく生きる生徒の育成を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。

本年度は88名の新入生を迎え、全校生徒261名が自主的に取り組むことを目標に、学習に部活動に毎日頑張っています。学習の面では、英語検定や漢字検定等の受検者も多く合格率も向上しています。

また、体育祭、けやき祭等の学校行事への取組や、地域のボランティア活動への参加にも積極的で、地域で行われるクリーン作戦、敬老会、歳末助け合い街頭募金活動などに参加しています。さらに、福祉教育の研究指定（H25～H27）を機に、地域との密着力を次第に強くしています。明るく活動的な本校の生徒たちは、志を高くもち目標に向かって毎日努力し心身ともに鍛えています。



英語学習の成果をためす空港外国人インタビュー



意欲的に取り組むボランティア活動



成田市立吾妻中学校
(創立 昭和53年)

生徒数 327人
学級数 13学級

本校は、成田ニュータウンの西に位置し、学区は橋賀台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部からなります。空港関連業種を中心に全国からの転入者が多い地区であり、近年、学区の小学校を含め、児童生徒数が増加傾向にあります。開校から40年を迎え校舎も全面的に新しくなり、これまでの伝統を引き継ぎながら、新たな吾妻中学校のスタートを切る年となりました。春には校地を取り囲む百本近くの八重桜が美しい花を咲かせる素晴らしい環境の学校です。

学校教育目標は「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身に付けた生徒の育成」であり、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、職員一同、全力で取り組んでいます。中でも、国際性や実践的なコミュニケーション能力の基礎を身に付けた生徒を育成するために、独自の教育課程を編成し、英語授業の充実を図っています。



「ALTが加わった英語授業」2年生が1年生に英語でプレゼンをしました。



校舎が全面的に新しくなり、新たな一歩を踏み出しました。



成田市立玉造中学校
(創立 昭和60年)

生徒数 277人
学級数 11学級

本校は、成田ニュータウンの北端にあり、玉造地区（1～7丁目）、八生地区の上福田・大竹・松崎及び公津地区の八代から学区が成り立っています。入学してくる生徒は、玉造小、神宮寺小、八生小の3校で9割以上を占め、本年度は合計277名で日々の学校生活を送っています。

平成27年5月に生徒総会で議決した、「挨拶・返事」「学習」「合唱活動」「無言清掃」「団結力」の「当たり前5項目」を心に留め、当たり前前にできるように取り組んでいます。

学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指し、本年度も次のことに取り組んでいます。

- ・基礎・基本の学習内容の定着を目標に、ドリル学習「ボーナス・スタディ・タイム」の展開
- ・本に親しみ、視野を広げ、学習意欲を高めるための朝の読書の実施
- ・ボランティア活動等、地域の活動への積極的な参加



「着付け体験」
男子着付け完了！



「今日の給食」
玉造中生徒が考えた献立です。



成田市立大栄中学校
(創立 昭和58年)

生徒数 248人
学級数 11学級

成田市の東部に位置し、大須賀・桜田・前林・津富浦・川上の5つの学区からなる本校は、学区中央に大須賀川が流れ、畑作地帯が田園を取り巻く自然豊かな環境にあります。

本校は「確かな学力 豊かな感性 強い体を持ち、21世紀をたくましく生きる生徒の育成」を学校教育目標として、その達成を目指して様々な教育活動を展開しています。また、本年も「一生懸命 日本一」をスローガンに掲げ、生徒一人一人が何事にも一生懸命取り組むことのできる学校づくりと、学校と保護者・地域が一体となって子どもたちを育てていく「共育」を推進しています。さらに、本校の良き伝統を築くとともに、学区小学校との連携を強化し、平成33年度に予定されている義務教育学校「大栄みらい学園」の開校につなげています。



3色対抗の「体育祭」



小学生と一緒に全校合唱「白亜祭」



成田市立公津の杜中学校
(創立 平成25年)

生徒数 598人
学級数 19学級

本年度、開校5年目を迎えた本校では、「未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成」を学校教育目標とし、「自立と共生」をキーワードにして、学区内の2小学校やPTAをはじめとする地域社会と連携しながら日々の教育活動に取り組んでいます。本年度は、特に、「公津の杜中ファイブ・チャレンジ」として、①健康、②いじめ根絶、③授業、④挨拶、⑤清掃を行動重点5項目に掲げました。具体的には、挨拶運動や無言清掃の取組など、昨年度までの生徒会活動をより一層充実させるとともに、授業の工夫改善に向けて、研究主題を「共に学び合い、高め合う生徒の育成」と設定し、各教科でより主体的、対話的な学びのための指導法を追究しています。

「一生懸命がかっこいい学校」が本校生徒の合言葉です。勉強に、運動にと全力で取り組み、その姿をお互いに励まし合い、認め合い、そして称え合う学校を目指しています。



毎日元気良く挨拶運動を行っています。



無言で集中して清掃に取り組んでいます。



成田市立下総みどり学園
(創立 平成29年)

児童生徒数 399人
学級数 23学級

本校は、北総地区で最初の施設一体型の小中一貫教育校として平成26年度に開校し、本年度から義務教育学校になりました。義務教育9年間を見通し、途切れることのない一貫した指導方針のもと、一人一人の子どもが着実に学力を身に付け、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう9年間の連続した学びを実践しています。そのために、前期（1～4学年）、中期（5～7学年）、後期（8・9学年）の3つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っています。毎日の清掃活動をはじめ、多くの教育活動の中で異学年交流を取り入れることで、上級生の自己有用感が高まり、下級生は高い目標をもって生活しています。また、全学年・全教科において「協同的な学びを取り入れた学習」を実践し、互いに認め、高め合える児童生徒の育成を目指しています。



1～9年生による全校遠足



4・8年生合同授業
(国語：ビブリオバトル)

成田市立大栄幼稚園
(創立 平成8年)

園児数 166人
学級数 6学級

本園は、成田市の東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を望む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園、大栄B&G海洋センター、ナスパ・スタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱい活動しています。また、園周辺の地域を利用し、緑豊かな自然との触れ合いを大切にした保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分でする子ども・友だちとなかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成に努めています。本年度は、3歳児2クラス44名、4歳児2クラス13名、5歳児2クラス4名、合計61名の新入園児を迎え6クラス166名でスタートしました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。



「流すよー」「いいよー」友達と協力しながら進めています。(どろんこ遊び)



自分たちで育てた野菜を使ってお料理！おいしくできるかな？(夏野菜の料理)

5 学校給食センター

学校給食は、教育活動の一環として定着し、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場、公津の杜小学校学校給食共同調理場で給食を調理しています。

(1) 食に関する指導の充実

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や、望ましい食習慣が身に付くよう食に関する指導を充実します。

また、子どもを生活習慣病から守るため、家庭に対して、毎朝きちんと朝食をとり、脂肪や塩分をおさえた食事をし、野菜などで食物繊維をしっかりとることなどの指導にも努めます。



栄養教諭による食の指導

(2) 献立の充実

ア 学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう改善に努めています。

また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で供食できるよう、十分な配慮を行います。

イ 献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるよう食品の組み合わせや調理方法に努めます。

ウ 学校給食の献立作成にあたっては、食材の種類を幅広く求め、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。

エ 成田産食材の使用として、主食となる米飯はすべて成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

(3) 衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、栄養管理、衛生管理及び指導面の充実に努めています。

また、保健所の指導協力のもとに職員の健康診断等を行うとともに、施設設備の点検、整理、整頓に努めています。

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準（文部科学省）

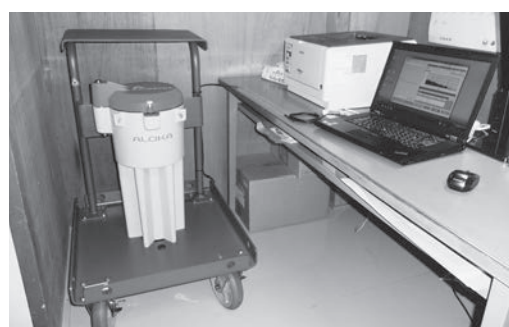
区 分	基 準 値			
	児童（6歳～7歳）の場合	児童（8歳～9歳）の場合	児童（10歳～11歳）の場合	生徒（12歳～14歳）の場合
エネルギー（kcal）	530	640	750	820
たんぱく質（g）	20	24	28	30
※1 範囲	16～26	18～32	22～38	25～40
脂 質（％）	学校給食による摂取エネルギー全体の25％から30％			
ナトリウム（食塩相当量）（g）	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満
カルシウム（mg）	300	350	400	450
鉄（mg）	2	3	4	4
ビタミンA（ μ g RE）	150	170	200	300
ビタミンB1（mg）	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2（mg）	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC（mg）	20	20	25	35
食物繊維（g）	4	5	6	6.5

- 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。
 マグネシウム……児童（6歳～7歳）70mg、児童（8歳～9歳）80mg、
 児童（10歳～11歳）110mg、生徒（12歳～14歳）140mg
 亜鉛……児童（6歳～7歳）2mg、児童（8歳～9歳）2mg、
 児童（10歳～11歳）3mg、生徒（12歳～14歳）3mg
- この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

※1 範囲 示した値の内に収めることが望ましい範囲

（4）食材の放射能対策

食材の放射能対策については、今後も生鮮食材を中心とする調理前の食材のサンプリング検査を実施してまいります。なお、測定結果については、毎月配布する献立表の裏面に掲載するとともに、ホームページで随時公表してまいります。



食品放射能測定器（玉造分所）

食品衛生法に基づく放射性セシウムの規制値（Cs-134 と Cs-137 の合計値）	
飲 料 水	10
牛 乳	50
一 般 食 品	100
乳 児 用 食 品	50

（単位：ベクレル /Kg）

(5) 地域との連携

本市の給食についての考え方や取組を伝え、実際に味わっていただくことで、給食の良さを広く市民に伝えることを目的とした「なりたの五つ星給食レストラン」を本年度から開催しています。

(6) 給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成21年度に施設整備基本計画を、平成22年度に施設整備実施計画を策定しました。その後、平成26年度に実施計画を見直しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び食育の推進が可能となる親子方式（※2）により施設の整備を進めています。



公津の杜小学校学校給食共同調理場

平成28年4月には、親子方式による3番目の施設となる公津の杜小学校学校給食共同調理場の運用を開始しました。

本年度は、美郷台小学校学校給食共同調理場の実施設計を行います。

※2 敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式